

**COSMETIC**

W 1169-02

**Patent number:** JP10203956  
**Publication date:** 1998-08-04  
**Inventor:** TSUBONE KAZUYUKI  
**Applicant:** KANEBO LTD  
**Classification:**  
- international: A61K7/48; A61K7/00  
- european:  
**Application number:** JP19970028561 19970127  
**Priority number(s):**

**Abstract of JP10203956**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To obtain a cosmetic excellent in moisture-retaining effect and free from stickiness by compounding a polyhydric alcohol having two or more hydroxyl groups in the molecule with a specific amount of a specific amide compound.

**SOLUTION:** This cosmetic is obtained by compounding 0.5-50wt.% polyhydric alcohol having two or more kinds of hydroxyl groups in the molecule and then, compounding one or two or more kinds of amine compounds of the formula (R is an alkyl or an alkenyl; A is an alkylene; B is n alkylene; Y is carboxyl, sulfone, sulfate, etc.) in a weight ratio of 0.01-4 based on the polyhydric alcohol therewith. The polyhydric alcohol includes e.g. dipropylene glycol, 1,3-butylene glycol or glycerol. The amide compound of the formula includes e.g. N,N'-bis(2-myristoylamideethyl)ethylenediamine-N,N'-di(sodium acetate).

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - Patent Abstracts of Japan

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-203956

(43)公開日 平成10年(1998) 8 月 4 日

(51)Int.Cl.<sup>8</sup>

識別記号

F I

A 6 1 K 7/48  
7/00

A 6 1 K 7/48  
7/00

C

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平9-28561

(22)出願日

平成9年(1997) 1 月27日

(71)出願人 000000952

鐘紡株式会社

東京都墨田区墨田五丁目17番4号

(72)発明者 坪根 和幸

神奈川県小田原市寿町 5 丁目 3 番28号 鐘  
紡株式会社化粧品研究所内

(54)【発明の名称】 化粧品

(57)【要約】

【課題】べたつきのない使用感触にすぐれた化粧料を提供すること。

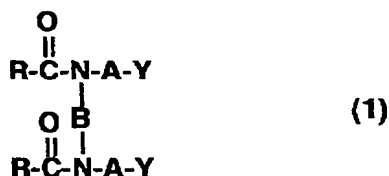
【解決手段】分子内に水酸基を2つ以上有する多価アルコール0.5～50重量配合してなる化粧料において、該多価アルコールに対して0.1～4(重量比)のアミド化合物を含有させる。

BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 分子内に水酸基を2つ以上有する多価アルコール0.5～50重量%配合してなる化粧料において、該多価アルコールに対して重量比で0.1～4の一般式(1)

【化1】



(式中、2個のRは同一又は異なって、それぞれヒドロキシル基が置換してもよい直鎖もしくは分岐鎖の炭素数1～24のアルキル基又はアルケニル基を示し、Aはヒドロキシル基又はカルボキシル基が置換してもよい直鎖もしくは分岐鎖の炭素数1～6のアルキレン基を示し、Bはヒドロキシル基が置換してもよい直鎖もしくは分岐鎖の炭素数2～6のアルキレン基を示し、Yはカルボキシル基、スルホン基、又は硫酸エステル基又はそれらの塩を示す)で表されるアミド化合物の1種又は2種以上を配合することを特徴とする化粧料。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、分子内に水酸基を2つ以上有する多価アルコールに起因する使用感触のべたつきを特定のアミド化合物を配合することによって解決した化粧料に関する。

【0002】

【従来の技術】皮膚における水分の保持は皮膚をすこやかに保つために欠かせない要因であり、保湿を目的とした化粧料が数多く市販されている。保湿に関与する物質の研究も盛んに行われ、数々の保湿剤が提供されている。中でも分子内に水酸基を2つ以上有する多価アルコールは、保湿性、吸湿性にすぐれることから化粧料に汎用されている。しかし、これらの多価アルコールは、皮膚をすこやかに保ち、荒れた肌を正常にするすぐれた作用がある反面、使用感触がかなりべたつくので、とりわけ使用感触的に良好なものが求められる化粧料においては大きな問題となっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】かかる事情に鑑み、本発明者は、使用感触にすぐれた保湿効果の高い化粧料を得るために鋭意検討した結果、上記化粧料中に特定のアミド化合物を特定量配合すれば、保湿効果に優れ、べたつきのない良好な化粧料が得られることを見出し、本発明を完成するに至った。

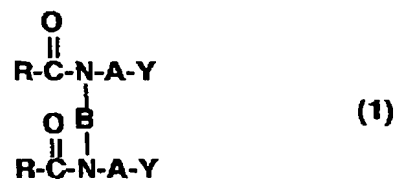
【0004】

【課題を解決するための手段】すなわち、本発明の請求項1の発明は、分子内に水酸基を2つ以上有する多価ア

ルコール0.5～50重量%配合してなる化粧料において、該多価アルコールに対して重量比で0.1～4の一般式(1)

【0005】

【化2】



【0006】(式中、2個のRは同一又は異なって、それぞれヒドロキシル基が置換してもよい直鎖もしくは分岐鎖の炭素数1～24のアルキル基又はアルケニル基を示し、Aはヒドロキシル基又はカルボキシル基が置換してもよい直鎖もしくは分岐鎖の炭素数1～6のアルキレン基を示し、Bはヒドロキシル基が置換してもよい直鎖もしくは分岐鎖の炭素数2～6のアルキレン基を示し、Yはカルボキシル基、スルホン基、又は硫酸エステル基又はそれらの塩を示す)で表されるアミド化合物の1種又は2種以上を配合することを特徴とする化粧料である。

【0007】

【発明の実施の形態】次に本発明の実施の形態を説明する。本発明における多価アルコールは分子内に水酸基を2個以上有するものであり、例えば、ジプロピレングリコール、1,3ブチレングリコール、1,4ブチレングリコール、グリセリン、ジグリセリン、マルトース、マルチトール、ショ糖、フラクトース、キシリトール、ソルビトール、エリスリトール等が挙げられる。これらの1種又は2種以上が用いられる。本発明は分子内に3個以上の水酸基を有する多価アルコールを含有する化粧料において顕著な効果を示す。水溶性多価アルコールの配合量は化粧料全量中0.5～25重量%であり、特に1～10重量%配合した化粧料において本発明の効果が顕著である。0.5重量%未満では保湿効果が得られず、25重量%を超える場合は、べたつきが抑えられない。

【0008】本発明に用いられるアミド化合物は上記分子構造式で表される化合物群をすべて意味する。例示するとN, N'-ビス〔2-ミリスチラミドエチル〕エチレンジアミン-N, N'-ジ(酢酸ナトリウム)、N, N'-ビス〔2-ミリスチラミドエチル〕エチレンジアミン-N, N'-ジ(酢酸ナトリウム)、N, N'-ビス〔2-パルミトイラミドエチル〕エチレンジアミン-N, N'-ジ(酢酸ナトリウム)、N, N'-

ビス〔2-ラウラミドエチル〕エチレンジアミン-N, N'-ジ(プロピオン酸ナトリウム)、N, N'-ビス〔2-ミリストイラミドエチル〕エチレンジアミン-N, N'-ジ(プロピオン酸ナトリウム)、N, N'-ビス〔2-パルミトイラミドエチル〕エチレンジアミン-N, N'-ジ(プロピオン酸ナトリウム)、N, N'-ビス(ラウロイルアミド)エタン-N, N'-ジ(酢酸ナトリウム)、N, N'-ビス(ミリストイルアミド)エタン-N, N'-ジ(酢酸ナトリウム)、N, N'-ビス(パルミトイルアミド)エタン-N, N'-ジ(酢酸ナトリウム)、N, N'-ビス(ラウロイルアミド)エタン-N, N'-ジ(プロピオン酸ナトリウム)、N, N'-ビス(ミリストイルアミド)エタン-N, N'-ジ(プロピオン酸ナトリウム)、N, N'-ビス(パルミトイルアミド)エタン-N, N'-ジ(プロピオン酸ナトリウム)、N, N'-ビス(ラウロイルアミド)ブタン-N, N'-ジ(酢酸カリウム)、N, N'-ビス(ミリストイルアミド)ブタン-N, N'-ジ(酢酸カリウム)、N, N'-ビス(ラウロイルアミド)エタン-N, N'-ジ(エタンスルホン酸カリウム)、N, N'-ビス(ミリストイルアミド)ブタン-N, N'-ジ(エタンスルホ

ン酸カリウム)、N, N'-ビス(パルミトイルアミド)ヘキサン-N, N'-ジ(エタンスルホン酸ナトリウム)が挙げられる。なお、本発明に適用されるアミド化合物として上記のスルホン酸基の代わりに硫酸エステル基を導入したアミド化合物も適用される。このようなアミド化合物の配合量は分子内に水酸基を2つ以上有する多価アルコール量に対して重量比で0.1~4の範囲で効果を発揮する。多価アルコール量に対する重量比0.1未満では効果があってもわずかである。その重量比4を超えるとアミド化合物固有のべたつきが使用感触を妨げる。

【0009】本発明の化粧品は上記の如くの組成からなるが、必要に応じて他の界面活性剤、乳化助剤、香料、着色剤、防腐剤、顔料等を本発明の目的を達成する範囲内で適宜配合することもできる。本発明の化粧品は乳液、クリーム、化粧水などの他、クレンジングローション、洗顔料、ボディシャンプー等の皮膚の洗浄を目的とするものにも適用される。

#### 【0010】

【実施例】以下、実施例にて本発明を説明するが、本発明はこの実施例によって限定されない。なお、配合量は重量%である。

#### 【0011】実施例1

栄養クリーム	
(A) セタノール	5.0
ステアリン酸	3.0
ワセリン	7.0
スクワラン	10.0
イソプロピルミリステート	2.0
グリセリルモノステアレート	3.0
エチルパラベン	0.2
香料	0.2
(B) ジプロピレングリコール	25.0
N, N'-ビス〔2-ミリストイラミドエチル〕 エチレンジアミン-N, N'-ジ(酢酸ナトリウム)	2.5
精製水	41.9
水酸化カリウム	0.2

(製法) Aの油相部及びBの水相部をそれぞれ70度Cに加熱し、完全溶解した後、油相部を水相部に混合し、乳化機にて乳化する。乳化物を熱交換器にて終温30度

Cまで冷却してクリームを得た。

#### 【0012】実施例2

栄養クリーム	
(A) セタノール	5.0
ステアリン酸	3.0
ワセリン	7.0
スクワラン	10.0
イソプロピルミリステート	2.0
グリセリルモノステアレート	3.0
エチルパラベン	0.2
香料	0.2
(B) ジプロピレングリコール	45.0

N, N' -ビス〔2-ミリストイラミドエチル〕	4. 5
エチレンジアミン-N, N' -ジ (酢酸ナトリウム)	
精製水	19. 9
水酸化カリウム	0. 2

(製法) 実施例1に準ずる。

## 【0013】実施例3

栄養クリーム	
(A) セタノール	5. 0
ステアリン酸	3. 0
ワセリン	7. 0
スクワラン	10. 0
イソプロピルミリステート	2. 0
グリセリルモノステアレート	3. 0
エチルパラベン	0. 2
香料	0. 2
(B) ジプロピレングリコール	1. 0
N, N' -ビス〔2-ミリストイラミドエチル〕	4. 0
エチレンジアミン-N, N' -ジ (酢酸ナトリウム)	
精製水	64. 4
水酸化カリウム	0. 2

(製法) 実施例1に準ずる。

## 【0014】比較例1

栄養クリーム	
(A) セタノール	5. 0
ステアリン酸	3. 0
ワセリン	7. 0
スクワラン	10. 0
イソプロピルミリステート	2. 0
グリセリルモノステアレート	3. 0
エチルパラベン	0. 2
香料	0. 2
(B) ジプロピレングリコール	1. 0
N, N' -ビス〔2-ミリストイラミドエチル〕	5. 0
エチレンジアミン-N, N' -ジ (酢酸ナトリウム)	
精製水	63. 4
水酸化カリウム	0. 2

(製法) 実施例1に準ずる。

## 【0015】比較例2

栄養クリーム	
(A) セタノール	5. 0
ステアリン酸	3. 0
ワセリン	7. 0
スクワラン	10. 0
イソプロピルミリステート	2. 0
グリセリルモノステアレート	3. 0
エチルパラベン	0. 2
香料	0. 2
(B) ジプロピレングリコール	1. 0
N, N' -ビス〔2-ミリストイラミドエチル〕	0. 07
エチレンジアミン-N, N' -ジ (酢酸ナトリウム)	
精製水	68. 33
水酸化カリウム	0. 2

(製法) 実施例1に準ずる。

【0016】表1に各実施例と比較例について使用性の

判定結果を示す。

【0017】

【表1】

	アミド化合物	多価アルコール	判定	総合評価
実施例1	2.5	25.0	AAABAAAB	A
実施例2	4.5	45.0	AAAABAAA	A
実施例3	4.0	1.0	BAAAAABA	A
比較例1	5.0	1.0	BBCCCBBB	B
比較例2	0.07	1.0	CBCBCBCB	C

【0018】(判定)

A:べたつかない

B:わずかにべたつくが使用上の問題はない範囲である。

C:べたつく

D:顕著にべたつく

【0019】この結果から本発明のアミド化合物〔N, N'-ビス〔2-ミリストイラミドエチル〕エチレンジ

アミン-N, N'-ジ(酢酸ナトリウム)〕の配合が水溶性多価アルコールのべたつきを抑えていることは明らかである。

【0020】

【発明の効果】以上記載の如く、本発明は、使用感触にすぐれた保湿効果の高い化粧料を提供することは明らかである。